

霧島市「今週の一問」
小五国語 十一月二十九日版
かごしまチャレンジから



一次の新聞記事を読み、あとの問いに答えましょう。

① 迷子の他の神様、十五年ぶりに発見

～ 社会科見学の小学生お手がら～

② 十五年前に行方不明になっていた田の神様が、昨日、菜の花横町内の林の中から発見された。社会科見学をしていた三年生が発見し、学校を通じて地区の公民館に知らされた。

③ 発見されたのは、菜の花横町の水田にまつられていた田の神様。見つけたのは、杉小学校の三年生。五月三十日の社会科の授業で、学校裏の林周辺を調べていたところ、草むらから高さ約七十センチメートルの田の神様が出てきた。

問一 右の記事は杉小学校の新聞委員会が作った杉の子新聞に掲載されたものです。記事中の①②③は、それぞれどんなねらいで書かれていますでしょうか。（ ）の中に番号を書きましよう。

- ア 事件や事実の内容をくわしく伝える。（ ）
- イ 読者の目を引きつけ、興味をもってもらおう。（ ）
- ウ 記事の内容を大まかに伝える。（ ）

問二 ③の記事の書き方で、大切なことはどれでしょう。次の、ア～オの中から正しいものを二つ選び記号を書きましよう

ア 失礼のないように、ていねいな言葉づかいで書く。
イ 事実をしっかりつたえるために、出来事があった日時や場所など情報を書きもらさないように書く。

ウ 楽しく読んでもらうために話し言葉を使って書く。
エ 記事を書いた人が、感じたことを豊かに表現する。
オ 事実をしっかりと伝えるために、あいまいな表現をしないように書く。

() と ()

【新聞を読むポイント】

※ 総合的な学習の時間や他の教科などでも、調べ学習に取り組む時には、新聞は重要な情報源となります。そこで、新聞記事の特徴を理解し、情報を得る手段としてうまく活用できるようにしておきましょう。

見出しは、伝えたい内容を短い言葉で表現しています。記事の内容の最も中心となる部分を分かりやすく表現するとともに、読者の興味を引きつけることも重要なねらいの一つです。

リード文は、記事の内容の重要な部分だけを簡単に要約したものです。短い時間で、内容のおおよそが理解できるように書かれています。読者は、ここだけを読んで、次の本文を読むかどうかを判断し、情報を選んでいきます。

本文では、記事の内容がくわしく書かれています。ただし、新聞というのは、文字数をなるべく少なく押さえることが求められます。そのために、言い切りや体言止めの文体で一文を短く重ねていく書き方がされています。

霧島市「今週の一問」
小五国語 十一月二十九日版
かごしまチャレンジから



一次の新聞記事を読み、あとの問いに答えましょう。

① 迷子の他の神様、十五年ぶりに発見

～ 社会科見学の小学生お手がら～

② 十五年前に行方不明になっていた田の神様が、昨日、菜の花横町内の林の中から発見された。社会科見学をしていた三年生が発見し、学校を通じて地区の公民館に知らされた。

③ 発見されたのは、菜の花横町の水田にまつられていた田の神様。見つけたのは、杉小学校の三年生。五月三十日の社会科の授業で、学校裏の林周辺を調べていたところ、草むらから高さ約七十センチメートルの田の神様が出てきた。

問一 右の記事は杉小学校の新聞委員会が作った杉の子新聞に掲載されたものです。記事中の①②③は、それぞれどんなねらいで書かれていますでしょうか。（ ）の中に番号を書きましよう。

- ア 事件や事実の内容をくわしく伝える。（ 3 ）
- イ 読者の目を引きつけ、興味をもってもらおう。（ 1 ）
- ウ 記事の内容を大まかに伝える。（ 2 ）

問二 ③の記事の書き方で、大切なことはどれでしょう。次の、ア～オの中から正しいものを二つ選び記号を書きましよう。

ア 失礼のないように、ていねいな言葉づかいで書く。
イ 事実をしっかりつたえるために、出来事があった日時や場所など情報を書きもらさないように書く。

ウ 楽しく読んでもらうために話し言葉を使って書く。
エ 記事を書いた人が、感じたことを豊かに表現する。
オ 事実をしっかりと伝えるために、あいまいな表現をしないように書く。

（イ）と（オ）

【新聞を読むポイント】

※ 総合的な学習の時間や他の教科などでも、調べ学習に取り組む際には、新聞は重要な情報源となります。そこで、新聞記事の特徴を理解し、情報を得る手段としてうまく活用できるようにしておきましょう。

見出しは、伝えたい内容を短い言葉で表現しています。記事の内容の最も中心となる部分を分かりやすく表現するとともに、読者の興味を引きつけることも重要なねらいの一つです。

リード文は、記事の内容の重要な部分だけを簡単に要約したものです。短い時間で、内容のおおよそが理解できるように書かれています。読者は、ここだけを読んで、次の本文を読むかどうかを判断し、情報を選んでいきます。

本文では、記事の内容がくわしく書かれています。ただし、新聞というのは、文字数をなるべく少なく押さえることが求められます。そのために、言い切りや体言止めの文体で一文を短く重ねていく書き方がされています。